

ポストコロナを見据え、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、関西圏や大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示す。

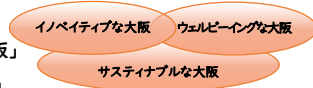
1. 大阪都市圏からみた特徴・役割

- ◆交通ネットワークを中心に都市機能が集積した市街地が連担し、コンパクトな府域を形成
- ◆近隣府県の主要な都市と一体となって、広域的な経済交流圏を形成
- ◆都市に近接した豊かな自然や歴史・文化資源等の多様な地域資源が集積、アクセスが良い
- ◆西日本経済の中心、世界のゲートウェイの役割、スーパー・メガリージョンの西の核としての機能が求められている
- ◆1970年大阪万博から50年余りが経過、大阪の安全・安心や成長・発展を支えてきた多くの都市ストックの計画的な更新により、大都市のリノベーションを進めることが重要

2. めざすべき都市像

(1) まちづくりの目標 **未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり**

- 【将来像】
- ①魅力的な国際都市として成長する大阪 **「イノベティブな大阪」**
 - ②健康長寿で誰もが幸せを実感しながら暮らせる大阪 **「ウェルビーイングな大阪」**
 - ③未来へつながる安全・安心な大阪 **「サステナブルな大阪」**
- 【まちづくり推進の視点】「ダイバーシティ(多様性の確保)」、「コ・クリエーション(共創)」、「リソース(資源の活用)」



(2) 大阪を取り巻く都市構造

◆府域の都市軸

◆府域のゾーニング

◆大阪都心部
都心部周辺
郊外部
ベイエリア
河川空間
周辺山系

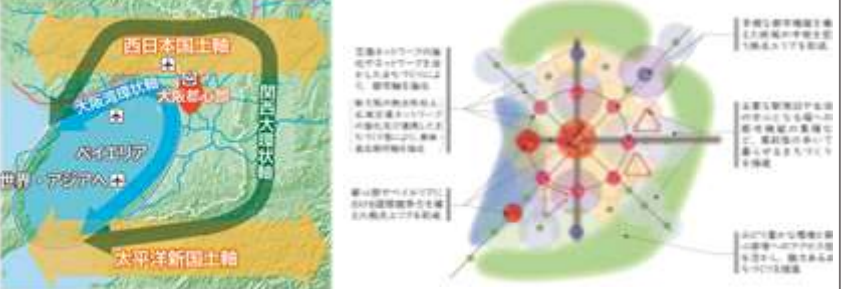
(3) めざすべき都市構造

◆広域レベル

◆府域レベル

広域的な都市構造を活かした都市圏の形成

マルチラブ&ネットワーク型都市構造の形成



3. まちづくりの戦略と取組の方向性

広域的な視点から取り組むべき5つのまちづくりの戦略とその取組の方向性を示し、民間活力を最大限に引き出しながら、多様な主体が一体となって取組を進める。

戦略1	戦略2	戦略3
<p>成長・発展をけん引する拠点エリアを形成</p> <p>1) 世界で存在感を発揮する拠点エリア 都心部やベイエリアにおいて、国際競争力を備えた拠点エリアを形成 【拠点エリアの候補】「新大阪・大阪エリア」、「大阪城・周辺エリア」、「なんば・天王寺・あべのエリア」、「御堂筋・周辺エリア」、「中之島・周辺エリア」、「夢洲・咲洲エリア」、「堺都心周辺エリア」、「関空・りんくう周辺エリア」計8エリア</p> <p>2) 大阪の中核を担う拠点エリア 都心部周辺や郊外部において、多様な都市機能を備えた拠点エリアを形成 【拠点エリアの候補】 都市軸の結節性等を重視し、IOエリアを設定</p> <p>3) 経済成長を促す産業拠点・集積エリア ものづくり産業や環境・新エネルギー産業、健康・医療関連産業など、大阪の成長・発展をけん引する産業拠点エリアの形成や、幹線道路沿道やベイエリア等での新たな産業用地等の創出 など</p>	<p>大阪ならではの魅力を活かし、暮らしやすさNo.1都市を実現</p> <p>1) 駅周辺での拠点形成と魅力ある生活圏の創造 ・駅周辺の再整備等に併せて都市機能の集積、人中心の空間への転換、鉄道沿線まちづくり ・新たな住居・ライフの活用による回遊性の向上 など</p> <p>2) 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちへ再編 ・地域の核となる機能の導入や coworkingスペース等の働く環境・場の創出 ・新たなモビリティを活用した移動円滑化 ・周辺の田園環境を活かした農との共存 など</p> <p>3) 豊かな自然を活かしたまちづくり ・AI(付加価値)交通等による交通アクセスの確保 ・既存ストックを活用した働く場等の創出、先端技術を活用した生活支援サービスの提供 ・豊かな自然を体験できるまちづくり、ワーケーションやマルチハビテーションの促進 など</p>	<p>海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化</p> <p>1) 大阪広域ベイエリアのまちづくり ・多様な地域資源・ストックを活かしたまちづくり ・海上交通・自転車等による回遊性の向上 など</p> <p>2) 河川空間を活かした魅力あるまちづくり ・舟運活性化や水辺空間の整備等にぎわい創出 ・自転車等による回遊性の向上 など</p> <p>3) 周辺山系の自然資源等を活用したまちづくり ・自然資源、歴史・文化、風景地等のネットワーク化 ・民間活力による魅力向上 など</p> <p>4) 多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市空間の形成 ・世界遺産など、歴史・文化遺産を巡る観光ネットワークの形成 ・景観資源やアートを活かしたまちづくり など</p>

支える

戦略4	戦略5
<p>人・モノ・情報の交流を促進</p> <p>1) 交通インフラと連携したまちづくり ・道路ネットワークの機能強化と沿道まちづくり ・交通ネットワークの充実と沿線まちづくり ・空港・港湾の機能強化等</p> <p>2) 豊かな都市空間を創造するまちづくり ・人中心の快適で魅力ある空間の創出 ・自転車、水上交通、新たなモビリティ、エモビリティを活用したまちづくり</p>	<p>安全・安心でグリーンな社会を実現</p> <p>1) 安全・安心なまちづくり ・人命を守る都市機能の強化 ・供給処理施設の機能維持・再構築とまちづくりへの利活用</p> <p>2) グリーン社会の実現に向けたまちづくり ・みどりを活かした魅力あふれるまちづくり ・脱炭素・省エネルギー社会の実現に向けたまちづくり ・資源循環型社会の実現に向けたまちづくり</p>

4. グランドデザインの推進に向けて

- (1) まちづくりに関わる様々な主体の役割・連携
・府、市町村、民間事業者・団体、府民等の役割 など
- (2) 推進体制や推進のための仕組みづくり
・規制緩和や公民連携の促進など、民間主導による取組の推進 など
- (3) めざすべき都市像の実現に向けたステップアップイメージ

5. 取組ロードマップ

短期(2025年)、中期(2030年)、長期(2040年)、超長期(2050年)を目標年次とした拠点エリア等における主な取組のロードマップ

6. まちづくりマップ

戦略と取組の方向性を踏まえた、大阪全体のまちづくりのイメージを示す図